



世界最大級の両生類 オオサンショウウオ 夜間観察会 2018

8/24

きん

9/7

きん

9/15

ど

タイムスケジュール

19:30~21:30

- 19:30 受付
- 20:00 開会、諸注意説明
- 20:10 移動
- 20:20 観察準備開始
- 20:30 観察開始
- 21:00 観察終了
- 21:10 移動
- 21:20 記念撮影、アンケート
- 21:30 閉会、解散

※スケジュールは多少ずれ込むことがあります

私たちの住んでいる鳥取県には
絶滅の危機に瀕しているおおさんしょううおが
実は身近なところに生息しています。
特に夏場は夜行性のおおさんしょううおを
比較的探しやすくなっています。
専門家の随行のもと野生のおおさんしょううおが
実際生息している場所を探索しましょう。
発見出来たときにはその大きさにおどろき、
貴重な生物との共存する感覚がみなさんにも
少しずつ芽生えるのではないのでしょうか。

詳細要項

- 定員：20名
- 開催場所：大山圏域内の河川
- 集合場所：旧名和保育所 | 鳥取県西伯郡大山町加茂12-2
※集合場所で受付をした後、徒歩で移動します。
- 対象：10才以上 ※小中学生は保護者同伴でご参加ください。
- 参加費：無料 ※SAVE JAPAN プロジェクトが経費を負担しています。
- 持ち物：懐中電灯、虫除け、タオル、動きやすい服装 など
※川に入るためのウェーダー（胴長靴）は主催者で準備します。
- 注意事項：雨天中止
(全3回ありますので雨天の際は別日でご参加ください。)
- その他：成人の方おひとりでの参加も大丈夫です。

プログラム申込み問い合わせ先

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
電話：0858-24-6460 FAX：0858-24-6470
E-mail: info@tottori-katsu.net 担当：上山、椿

プログラム当日の連絡先

090-1010-3853 (椿)
080-4249-3190 (豊)

共催：大山・オオサンショウウオの会
公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
協力：認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター
協賛：損害保険ジャパン日本興亜株式会社

SAVE JAPAN プロジェクト2018

オオサンショウウオ夜間観察会



SAVE JAPAN プロジェクトとは？

47 都道府県の NPO と地域のみなさま、損保ジャパン・日本興亜損保と一緒に、全国各地の「生き物が住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。お客様に Web 約款（※1）をご選択いただくことにより、寄付を行い、地域の環境 NPO や NPO 支援センター、日本 NPO センターと協働で、市民参加型の体験イベントを開催します。参加募集の案内や、開催報告など随時専用サイトに掲載。地域のみなで参加出来るイベントを目指します。
(<http://sabejapan-pj.net>)

（※1）Web 約款とは、保険などの説明書を「紙」の印刷物ではなく、ホームページ上で閲覧できる仕組みです。

お申込み方法

WEBフォーム、Eメール、お電話、FAXのいずれかでお申し込みください。
FAXには、下記の参加申込書をお使いください。
E-メール：info@tottori-katsu.net（担当 椿）
TEL：0858-24-6460 FAX：0858-24-6470

FAX：0858-24-6470

参加申込書

※ご参加希望日に○をつけてください。

8月24日(金)	9月7日(金)	9月15日(土)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

参加者氏名①（お申し込み代表者）	氏名ふりがな	年 齢	性 別
参加者氏名②	氏名ふりがな	年 齢	性 別
参加者氏名③	氏名ふりがな	年 齢	性 別
代表者メールアドレス ※雨天時の催行状況等お伝えいたしますので、なるべくパソコンのアドレスをお知らせください。			
電話番号 ※当日ご連絡の可能な連絡先(携帯電話等)をご記入ください。			
住 所 ※保険加入のため、お申し込み代表者の住所をご記入ください。			
ご質問・お問い合わせなど			

※ SAVE JAPAN プロジェクトでは、SAVE JAPAN プロジェクトを運用する認定特定非営利活動法人日本NPOセンターの個人情報保護に基づいて、個人情報を適正に取り扱います。次の目的により使用するもので、その他の目的には使用いたしません。

- 〔使用目的〕
- ・SAVE JAPAN プロジェクトのプログラムに関する問い合わせなど。
 - ・SAVE JAPAN プロジェクトの関係者(実施団体、協働団体、損保ジャパン、日本興亜損保、日本NPOセンター)が SAVE JAPAN プロジェクトのプログラムの準備、実施、報告をする際に非営利目的で活用する場合。